

保健体育科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準			
		知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動（8）	・体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、書き出している。 ・「体ほぐしの運動」には、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」というねらいに応じた行い方があることについて、書き出している。 ・体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮して組み合わせる方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・運動の組合せ方には、効率のよい組合せとバランスのよい組合せがあることについて、書き出している。	【体ほぐしの運動】 ・リズムに乗って心が弾むような運動や緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動、いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動や仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 【体の動きを高める運動】 〈体の柔らかさ〉 ・大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりしている。 〈巧みな動き〉 ・いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり転がしたりしている。 ・大きな動作で、ボールなどの用具を、力を調整して投げたり受けたりしている。 〈力強い動き〉 ・自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりしている。 ・二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりしている。 〈動きを持続する能力〉 ・走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行っている。	・体ほぐしの運動のねらいに応じた運動を選んでいる。 ・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に応じて、仲間との関わり方を見付けている。 ・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための運動を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言をしたりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ・ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
5月	陸上競技（8） 短距離走・リレー 四島体育大会 個人種目練習 走高跳・走幅跳・ハードル走	・自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。	【短距離走・リレー】 ・クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。 ・リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。 【ハードル走】 ・遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。 ・抜き足の膝を折りたんで前に運ぶなどの動作でハードルを越すことができる。 ・インターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。 【走り幅跳び】 ・自己に適した距離、又は歩数の助走をしている。 ・踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。 ・かがみ跳びなどの空間動作からの流れの中で着地している。 【走り高跳び】	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している

			・リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。 ・跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。 ・脚と腕のタイミングを合わせて踏み切り、大きなはさみ動作で跳ぶことができる。	を見付け、仲間に伝えている。	
6月	バレーボール (10)	・集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びについて、書き出している。 ・技術を身に付けるためのポイントについて、言ったり書き出ししたりしている。	・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。 ・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ・プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
6月 7月	水泳 (10)	・泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や動作の名称について、言ったり書き出ししたりしている。 ・それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出ししたりしている。	【クロール】 ・一定のリズムで強いキックを打つことができる。 ・水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。 ・プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 【平泳ぎ】 ・蹴り終わりで長く伸びるキックができる。 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び（グライド）をとり進むことができる。 【背泳ぎ】 ・両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックができる。 ・水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。 ・水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをすることができる。 ・呼吸を、プルとキックの動作に合わせて行うことができる。 【スタート】	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、計測などの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。

			・抵抗の少ない姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。 【ターン】 ・片手又は両手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。		
7月 9月	ダンス 運動会練習 (短距離走・ リレー) (8)	・仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることの楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・様々な文化の影響を受け発展してきたことについて、学習した具体例を挙げている。 ・3種類のダンスの表現の仕方の違いについて、学習した具体例を挙げている。 ・リズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、学習した具体例を挙げている。	・【創作ダンス】 1 多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選んで、動きに変化を付けて素早く即興的に表現することができる学習段階 ・動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現できる。 2 表したい感じやイメージを強調するように表現して踊ることができる学習段階 ・仲間とともに、テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方で、「はじめ-なか-おわり」の構成で表現して踊ることができる。 【現代的なリズムのダンス】 ・自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しリズムで踊ることができる。 ・軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたき、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。 ・シンコペーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊ることができる。	・提示された事例を参考に、自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・提示された踊りのポイントやつまりの事例を参考に、仲間やグループの課題や出来映えを伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、グループへの関わり方を見付けている。 ・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。
10月	器械運動 (マット運動) (6)	・多くの技に挑戦し、できる楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・技の名称は、運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称について、学習した具体例を挙げている。 ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ・器械運動は、それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。 ・発表会には、学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。	〈回転系〉 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。 接点技群（背中をマットに接して回転する） ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方や回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。 ほん転技群（手や足の支えで回転する） ・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくするための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回転することができる。 〈巧技系〉 平均立ち技群（バランスをとりながら静止する） ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして静止することができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、バランスをとり静止することができる。	・提示された動きのポイントやつまりの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。
10月 11月	ソフトボール (10)	・集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びについて、書き出している。 ・技術を身に付けるためのポ	・正しい持ち方でバットを構えることができる。 ・バットを強く振り抜くことができる。 ・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 ・打球を捕球し、正確に投げるができる。 ・守備の際、準備姿勢をとることができる。	・提示された動きのポイントやつまりの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法	・積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイ

		イントについて、言ったり書き出したりしている。		・選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
1 2 月	陸上競技 (6) 長距離走	・自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・他の陸上競技の種目と高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。	・腕に余分な力を入れないで、リラックスして走ることができる。 ・自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。 ・ペースを一定にして走ることができる。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している
1 月 2 月	柔道 (10)	・武道は対人的な技能を基にした、我が国固有の文化であることについて、学習した具体例を挙げている。 ・技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方について、学習した具体例を挙げている。 ・技を身に付けるための技術的なポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・他の武道と高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 ・試合におけるルール、審判及び運営の仕方について、学習した具体例を挙げて	基本動作 ・姿勢と組み方では、相手の動きに応じやすい自然体で組むことができる。 ・崩しでは、相手の動きに応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。 受け身 ・横受け身では、体を横に向け下側の脚を前方に、上側の脚を後方にし、両脚と一方の腕全体で畳を強くたたくことができる。 ・後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、両方の腕全体で畳を強くたたくことができる。 ・前回り受け身では、前方へ体を回転させ、背中側面が畳に着く瞬間に、片方の腕と両脚で畳を強くたたくことができる。 投げ技 ・取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は体落としをかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は太腰をかけて投げ、受は受け身をとることができる。 固め技 ・取は、「抑え込みの条件」を満たして相手を抑えることができる。 ・取はけさ固めや横四方固め、上四方固めで相手を抑えることがで	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習の場面で、仲間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。

		いる。	きる。 ・受はけさ固めや横四方固め、上四方固めで抑えられた状態から、相手を体側や頭方向に返すことができる。		
2月	バスケットボール (5)	・集団対集団，個人対個人で攻防を展開し，勝敗を競う楽しさや喜びについて，書き出している。 ・技術を身に付けるためのポイントについて，言ったり書き出したりしている。	・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 ・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ・パスを受けるために，ゴール前の空いている場所に動くことができる。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えている。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えている。
3月	サッカー (5)		・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 ・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ・パスを受けるために，ゴール前の空いている場所に動くことができる。		

時間数等	単元名・学習内容	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 (16)	健康な生活と病気の予防① ・健康の成り立ち ・運動と健康 ・食生活と健康 ・休養・睡眠と健康 ・調和のとれた生活	・健康は，主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 ・健康を保持増進するためには，個人の行動や環境を健康的なものにするとともに，その実現を可能にする社会の取り組みが必要であることを理解している。 ・適度な運動・適切な食事・休養・睡眠には，体の各器官を発達させるとともに，精神的にもよい効果があることを理解している。 ・長時間の学習，運動，作業は疲労をもたらすこと，疲労の現れ方は条件や個人などによって違うことを理解している。	・自分にとって健康とはどのようなことか考えたり話し合ったりしている。 ・学習したことを踏まえて，自分に適した運動・食事・休養を計画したり考えたりしている ・自分の生活を振り返り，よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。	・自分の健康に関心を持ち，健康について考えようとしている。 ・生活上の運動・食生活・休養等の改善に，意欲的に取り組もうとしている。

	心身の発達と心の健康 ・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発達 ・生殖機能の成熟 ・性とう向き合うか ・心の発達（１） ・心の発達（２） ・自己形成 ・欲求不満やストレスへの対処	・思春期は、身長や体重が急速に発育する時期（発育急進期）に当たることを理解している。 ・体の各器官は、年齢とともに発育・発達するが、その時期や程度には個人差があること、各器官によっても違いがあることを理解している。 ・思春期には、性ホルモンの働きによって生殖機能が成熟し、排卵や月経、射精等が起こることとその仕組みを理解している。 ・心の働きには知的機能や情意機能があり、さまざまな経験や学習によって発達することを理解している。 ・社会性は、人間関係におけるさまざまな経験によって発達している。を理解している。 ・思春期には自己形成がなされること、自己形成はどのようになされるかについて理解している。 ・心と体が密接に関係していること、心の健康を保つためには心身の調和を保つこと等が必要であることを理解している。	・排卵や月経、射精が起こるようになることの意味について考えているとともに、それらを他者に伝えている。 ・性情報にどう対処すべきかについて考えているとともに、それらを他者に伝えている。 ・自分の生活経験が、心の発達にどのように関係しているかについて考えているとともに、それらを他者に伝えている。 ・人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。 ・自己形成について、自分の経験や知識、友達の意見などを基に考えているとともに、それらを表現している。 ・自分に合ったストレスへの対処について考えているとともに、それらを他者に伝えている。	・望ましい心身の発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を持っている。 ・欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。
体育理論 （３）	スポーツの多様性 ・スポーツの始まりと発展 ・スポーツへの多様な関わり方 ・スポーツの多様な楽しみ方	・スポーツはどのようにして生まれ、発展してきたのかについて理解している。 ・スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」「知ること」といったさまざまな関わり方があることを知るとともに、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむには、世代や機会に応じて、自分に合った運動や多様な楽しみ方を見つけたり工夫したりしている。が大切であることを理解している。	・スポーツの必要性や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 ・自分がスポーツにどのように関わっているか、今後どのように関わっていきたいかについて考えたり話し合ったりしている。 ・世代や機会に応じたスポーツの楽しみ方について、さまざまな工夫を考えたり話し合ったりしている。	・スポーツの必要性や楽しさに関心をもち、今後、スポーツに関わっていくことについて、実践への意欲を持っている。 ・スポーツの多様な楽しみ方に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。

保健体育科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準			
		知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動（8）	・体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、書き出している。 ・「体ほぐしの運動」には、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」というねらいに応じた行い方があることについて、書き出している。 ・体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮して組み合わせる方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・運動の組合せ方には、効率のよい組合せとバランスのよい組合せがあることについて、書き出している。	【体ほぐしの運動】 ・リズムに乗って心が弾むような運動や緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動、いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動や仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 【体の動きを高める運動】 〈体の柔らかさ〉 ・大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりしている。 〈巧みな動き〉 ・いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり転がしたりしている。 ・大きな動作で、ボールなどの用具を、力を調整して投げたり受けたりしている。 〈力強い動き〉 ・自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりしている。 ・二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりしている。 〈動きを持続する能力〉 ・走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を継続して行っている。	・体ほぐしの運動のねらいに応じた運動を選んでいる。 ・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わり方を見付けている。 ・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための運動を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言をしたりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ・ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
5月	陸上競技（8） 短距離走・リレー 四島体育大会 個人種目練習 走高跳・走幅跳・ハードル走	・自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。	【短距離走・リレー】 ・クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・自己に合ったピッチとストライドでリラックスして速く走ることができる。 ・リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。 【ハードル走】 ・遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。 ・振り上げ足をバーに対してまっすぐ振り上げ、すばやく振り下ろすことができる。 ・抜き脚の膝を折りたたんで前に運ぶなどの動作でハードルを越すことができる。 ・インターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。 【走り幅跳び】 ・自己に適した距離、又は歩数の助走をしている。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している

			・踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。 ・かがみ跳びやそり跳びなどの空間動作からの流れの中で着地している。 【走り高跳び】 ・リズミカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。 ・跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。 ・脚と腕のタイミングを合わせて踏み切り、大きなはさみ動作やベリーロール動作で跳ぶことができる。	を見付け、仲間に伝えている。	
6月	バレーボール (10)	・集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びについて、書き出している。 ・技術を身に付けるためのポイントについて、言ったり書き出したたりしている。	・三方向から助走をとり、テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。 ・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ・プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。	・提示された動きのポイントやつまりずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
6月 7月	水泳 (10)	・泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や動作の名称について、言ったり書き出したたりしている。 ・それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したたりしている。	【クロール】 ・一定のリズムで強いキックを打つことができる。 ・水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。 ・プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 【平泳ぎ】 ・蹴り終わりで長く伸びるキックができる。 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び（グライド）をとり進むことができる。 【背泳ぎ】 ・両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックができる。 ・水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。	・提示された動きのポイントやつまりずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、計測などの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。

			・水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをすることができる。 ・呼吸を、プルとキックの動作に合わせて行うことができる。 【バタフライ】 ・気をつけた姿勢やビート板を用いて、ドルフィンキックをしている。ができる。 ・両手を前方に伸ばした状態から、鍵穴（キーホール）の形を描くように水をかくことができる。 ・手の入水時とかき終わりのときに、それぞれキックをしている。ができる。 ・プルのかき終わりと同時にキックを打つタイミングで、顔を水面上に出して呼吸をすることができる。 【スタート】 ・抵抗の少ない姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。 【ターン】 ・片手又は両手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。		
7月 9月	ダンス 運動会練習 （短距離走・ リレー） （8）	・仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることの楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・様々な文化の影響を受け発展してきたことについて、学習した具体例を挙げている。 ・3種類のダンスの表現の仕方の違いについて、学習した具体例を挙げている。 ・リズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、学習した具体例を挙げている。	【創作ダンス】 1 多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選んで、動きに変化を付けて素早く即興的に表現することができる学習段階 ・動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで工夫した表現ができる。 2 表したい感じやイメージを強調するように表現して踊ることができる学習段階 ・仲間とともに、テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方で、「はじめ-なか-おわり」の構成で表現して踊ることができる。 【現代的なリズムのダンス】 ・自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しリズムで踊ることができる。 ・軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたき、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。 ・シンコペーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊ることができる。	・提示された事例を参考に、自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・提示された踊りのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間やグループの課題や出来映えを伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、グループへの関わり方を見付けている。 ・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。
10月	器械運動 （跳び箱運動） （6）	・多くの技に挑戦し、できる楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・技の名称は、運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称について、学習した具体例を挙げている。 ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ・器械運動は、それぞれの種	・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。 〈切り返し系〉 ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方、突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越し着地することができる。 〈回転系〉 ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越し着地することができる。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法	・積極的に取り組もうとしている。 ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。

		目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。 ・発表会には、学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。		を見付け、仲間に伝えている。	
10月11月	ソフトボール(10)	・集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びについて、書き出している。 ・技術を身に付けるためのポイントについて、言ったり書き出したりしている。	・正しい持ち方でバットを構えることができる。 ・バットを強く振り抜くことができる。 ・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 ・打球を捕球し、正確に投げるができる。 ・守備の際、準備姿勢をとることができる。 ・ボールの落下地点にすばやく入り、ボールを捕球することができる。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
12月	陸上競技(6) 長距離走	・自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びについて、学習した具体例を挙げている。 ・動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・他の陸上競技の種目と高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。	・腕に余分な力を入れないで、リラックスして走ることができる。 ・自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。 ・ペースを一定にして走ることができる。	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。	・積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。
1月2月	柔道(10)	・武道は対人的な技能を基にした、我が国固有の文化であることについて、学習した具体例を挙げている。 ・技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的	基本動作 ・姿勢と組み方では、相手の動きに応じやすい自然体で組むことができる。 ・崩しては、相手の動きに応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。 受け身	・提示された動きのポイントやつまりきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。	・積極的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付

		な考え方について、学習した具体例を挙げている。 ・技を身に付けるための技術的なポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・他の武道と高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 ・試合におけるルール、審判及び運営の仕方について、学習した具体例を挙げている。	・横受け身では、体を横に向け下側の脚を前方に、上側の脚を後方にして、両脚と一方の腕全体で畳を強くたたくことができる。 ・後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、両方の腕全体で畳を強くたたくことができる。 ・前回り受け身では、前方へ体を回転させ、背中側面が畳に着く瞬間に、片方の腕と両脚で畳を強くたたくことができる。 投げ技 ・取は大内刈りをかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は大外刈りをかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は内股をかけて投げ、受は受け身をとることができる。 固め技 ・取は、「抑え込みの条件」を満たして相手を抑えることができる。 ・取はけさ固めや横四方固め、上四方固めで相手を抑えることができる。 ・受はけさ固めや横四方固め、上四方固めで抑えられた状態から、相手を体側や頭方向に返すことができる。	・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習の場面で、仲間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。
2月	バスケットボール (5)	・集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びについて、書き出している。 ・技術を身に付けるためのポイントについて、言ったり書き出したりしている。	・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 ・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ・パスを受けるために、空いている場所に動くことができる。 ・シュートの打ち方を工夫することができる。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。
3月	サッカー (5)		・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 ・マークされていない味方にパスを出すことができる。 ・パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ・パスを受けるために、空いている場所に動くことができる。 ・相手を見て、シュートのコースを選択することができる。		

時間 数等	単元名・学習内容	評価の観点・評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 (16)	健康な生活と病気の予防② - 生活習慣病とその予防 - がんとその予防 - 喫煙と健康 - 飲酒と健康 - 薬物乱用と健康 - 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	- 生活習慣病とは、不適切な生活習慣がその発症や進行に関係する病気であり、その予防方法には健康増進・発病予防、早期発見・早期治療、個人を支援する社会的環境の整備が必要であることを理解している。 - がんの原因、症状とともに、予防や進行の防止には生活習慣の改善や早期発見・早期治療が有効であることを理解している。 - 喫煙・飲酒・薬物乱用の悪影響について理解している。	- 生活習慣病の予防について、自分の生活との関わりを考えているとともに、それらを表現している。 - 学習したことを基に、がんの予防についてまとめたり他者に伝えたりしている。 - 学習したことを基に、自分や自分の周りの人の健康を守るための取り組みを考え、それらを表現している。 - 学習したことを基に、飲酒・喫煙・薬物乱用についてまとめたり、事例を基に誤りを指摘したりしている。	- 生活習慣の改善などの実践への意欲を持っている。 - 学習した知識を基に、喫煙・飲酒・薬物乱用に関しての話し合いや実習に自主的に取り組んだり書き出したりしている。
	傷害の防止 - 傷害の原因と防止 - 交通事故の現状と原因 - 交通事故の防止 - 犯罪被害の防止 - 自然災害に備えて - 応急手当の意義と基本			
体育理論 (3)	スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 - スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 - スポーツの学び方 - スポーツの安全な行い方	- スポーツが心身と社会性に及ぼす効果について理解している。 - スポーツには、領域や種目に特有の技術や技能、戦術・作戦、表現の仕方があり、その学び方には一定の方法があることを理解している。 - スポーツを楽しく安全に行うためには、目的に合ったスポーツを選び、活動の強さ、時間・回数、頻度、休養などのスポーツ活動の条件を適切に決めて計画的に行うことが大切であることを理解している。	- スポーツが自分の心身に及ぼす効果、スポーツに求められる社会性について考えているとともに、意見を出すなどしている。 - 学習したことを基に、自分がスポーツを行う際に、技能、戦術・作戦、表現、安全について考え、表現している。	日常生活でのスポーツの実践への意欲を持ち、安全に気を付けて取り組もうとしている。

保健体育科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価基準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月	体づくり運動（8）	・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにしている。や軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 ・実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であることについて、言ったり書き出したりしている。	【体ほぐしの運動】 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動やリズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動やいろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 【実生活に生かす運動の計画の行い方】 ・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てている。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てている。	・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について考えている。 ・課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとしている。 ・自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。
5月	陸上競技（8） 短距離走・リレー 四島体育大会個人種目練習 走高跳・走幅跳・ハードル走	・記録の向上につながる重要な動きのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高められることについて、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	【短距離走・リレー】 ・クラウチングスタートでは、スターティングブロックを力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ることができる。 ・リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。 ・お互いがトップスピードでバトンパスをすることができる。 【ハードル走】 ・スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 ・遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げ、ハードルを低く走り越すことができる。 ・インターバルでは、3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。 ・ハードルを跳び越す際、上体を低くして跳び越えることができる。 【走り幅跳び】 ・踏み切り前3～4歩からリズムアップして踏み切りに移ることができる。 ・踏み切りでは上体を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚を素早く引き上げることができる。 ・そり跳びやはさみ跳びなどの空間動作からの流れの中で、脚を前に投げ出す着地動作をとることができる。 【走り高跳び】 ・リズムカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り、はさみ跳びや背面跳びなどの空間動作で跳ぶことができる。 ・ベリーロール跳びや背面跳びでは踏み切り前の3～5歩で弧を描くように走り、体を内側に倒す姿勢を取るようにして踏み切りに	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。

6月	バレーボール (10)	・戦術、作戦を身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高められることについて、学習した具体例を挙げている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	移ることができる。 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 ・三方向から助走をとり、テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。	・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイント等について、自己の活動を振り返ったり仲間に伝えたりしている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。
6月 7月	水泳 (10)	・効率的に泳ぐためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・泳法と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高められることについて、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するための、自己観察や他者観察などについて、学習した具体例を挙げている。	【クロール】 ・水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。 ・泳ぎの速さに応じて、顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。 【平泳ぎ】 ・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。 ・ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び（グライド）をとり、1回のストロークで大きく進むことができる。 【背泳ぎ】 ・水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ入水している。ができる。 ・一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせることができる。 【バタフライ】 ・腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ・手の入水時のキック、かき終わりの時のキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【個人メドレー】 ・4泳法をつなげて泳ぐことができる。 【スタート】 ・抵抗の少ない姿勢をとって力強く壁を蹴り、各泳法に適した水中における一連の動きから、泳ぎだすことができる。 【ターン】 ・片手、両手又は両足でプールの壁にタッチし、泳ぎだすことがで	・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・バディやグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。

7月 9月	ダンス 運動会練習 (短距離 走・リレ ー) (8)	・身体運動や作品創作に用いられる名称や用語について、学習した具体例を挙げている。 ・それぞれの踊りの特徴と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	きる。 【現代的なリズムのダンス】 ・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。 ・軽快なロックでは、全身でビートに合わせて弾んだり、ビートのきいたヒップホップでは膝の上下に合わせて腕を動かしたりストップするようにしたりして踊ることができる。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ることができる。	・それぞれの踊りに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。 ・選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。
10月	器械運動 (マット運動、跳び箱運動) (6)	・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・発表会や競技会の行い方があり、発表会での評価方法、競技会での競技方法や採点方法、運営の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。	【マット運動】 〈回転系〉 ・開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。 ・つなぎ技を取り入れて、連続技をスムーズに行うことができる。 接点技群(背中をマットに接して回転する) ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。 ほん転技群(手や足の支えで回転する) ・全身を支えたり、突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくするための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転することができる。 〈巧技系〉 平均立ち技群(バランスをとりながら静止する) ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて静止することができる。 ・姿勢、体の向きなどの条件を変えて静止している。ができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで静止している。ができる。 【跳び箱運動】 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことが	・選択した技の行い方や技の組合せ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・器械運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動	・自主的に取り組もうとしている。 ・自己の状況にかかわらず互いに讃え合おうとしている。 ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。

			できる。 〈切り返し系〉 ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方、突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。 〈回転系〉 ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。	を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	
11月 12月	ソフトボール (10)	・戦術、作戦を身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高めることができることについて、学習した具体例を挙げている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	・身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・スピードを落とさずに塁間を走ることができる。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を進んだり戻ったりしている。ができる。 ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるができる。 ・仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり、中継したりすることができる。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすることができる。	・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイント等について、自己の活動を振り返ったり仲間に伝えたりしている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。
12月	陸上競技 (6) 長距離走	・記録の向上につながる重要な動きのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高められることについて、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ・練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、み	・自主的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。

				る、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	
1月 2月	柔道（10）	・武道を学習している。は、自国の文化に誇りをもつことや、国際社会で生きていく上で有意義であることについて学習した具体例を挙げている。 ・技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古について、学習した具体例を挙げている。 ・武道では、攻防に必要な補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高められることについて、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。	基本動作 ・姿勢と組み方では、相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。 ・崩しては、相手の動きの変化に応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。 ・進退動作では、相手の動きの変化に応じたすり足、歩み足、継ぎ足で、体の移動をしている。ができる。 受け身 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。 投げ技 ・取は小内刈りをかけて投げ、受は受け身をとること。 ・取は小外刈りをかけて投げ、受は受け身をとること。 ・取は払腰をかけて投げ、受は受け身をとることができる。 投げ技の連絡 〈二つの技を同じ方向にかける技の連絡〉 ・大内刈りから大外刈りへ連絡することができる。 〈二つの技を違う方向にかける技の連絡〉 ・大内刈りから払腰へ連絡することができる。 ・体落としから大外刈りへ連絡することができる。 固め技の連絡 ・取は相手の動きの変化に応じながら、けさ固め、横四方固め、上四方固めの連絡を行うことができる。 ・受はけさ固め、横四方固め、上四方固めで抑えられた状態から、相手の動きの変化に応じながら、相手を体側や頭方向に返すことによって逃げるができる。 ・相手がうつぶせのとき、相手を仰向けに返して抑え込みに入ることができる。	・見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに武道を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・武道の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。
2月	バスケットボール（5）	・戦術、作戦を身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。 ・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、体力を高めることができることについて、学習した具体例を挙げている。	・シュートの打ち方を工夫することができる。 ・相手に気付かれずにパスを出すことができる。 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをしている。ができる。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 ・ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。 ・スクリーンプレーをすることができる。	・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイント等について、自己の活動を振り返ったり仲間に伝えたりしている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球	・自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。
3月	サッカー（5）	・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするための、自己観察や他者観察などの方法について、学習した具体例を挙げている。	・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 ・ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。	・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイント等について、自己の活動を振り返ったり仲間に伝えたりしている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球	・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

				技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	
--	--	--	--	-----------------------------	--

時間数等	単元名・学習内容	評価の観点・評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 (16)	健康な生活と病気の予防③ ・感染症とその予防 ・性感染症とその予防／エイズ ・健康を守る社会の取り組み ・医療機関の利用と医薬品の使用	・感染症は、環境の条件や主体の条件が複雑に関係することや、それを予防するには、感染源、感染経路、体の抵抗力のそれぞれについて対策を立てることが有効であることを理解している。 ・感染症、性感染症、HIV 感染・エイズについて、治療、症状、特徴、感染拡大の防止などについて理解している。 ・人々の命や健康を守るために、保健所・保健センターなどでさまざまな社会的活動が行われていることを理解している。 ・医療機関について知るとともに、医療機関を必要に応じて適切に利用することや医薬品には主作用と副作用があること、使用方法を守り正しく使用することが大切であることを理解している。	・感染した（しているかもしれない）ときにどう行動すべきかや、抵抗力を高めるためにできることについて考え、意見を出し合っている。 ・自分が住んでいる地域の保健所、保健センターについて調べたり、利用について考えたりしている。 ・事例を基に、医薬品の使い方について考えたり話し合ったりしている。	・粘り強く学習に取り組もうとしている。 ・学習や話し合い活動に調整しながら取り組んでいる。 ・保健機関の役割などに関心を持ち、自分や家の人の健康と関連させて、その利用について考えようとしている。 ・医薬品の使い方に関心を持ち、適切に使用しようとしている。
	健康と環境 ・環境の変化と適応能力 ・活動に適した環境 ・室内の空気の状態 ・水の役割と飲料水の確保 ・生活排水の処理 ・ごみの処理 ・環境の汚染と保全	・人間には、環境の変化に応じて諸器官を働かせてその変化に対応する能力があり、またその能力には限界があることを理解している。 ・事例を通して、気象情報などの情報の適切な利用が有効であること、暑さ・寒さの感じ方には、気温、湿度、気流が関係しており、気温には人間の活動にとって至適な範囲があることを理解している。 ・二酸化炭素濃度は、室内の空気の汚れの指標となることや、一酸化炭素は、吸入すると一酸化炭素中毒を起こすことを理解している。 ・水は、人間の生命維持や健康な生活を送るうえで重要な役割を果たしていること、飲料水の水質には一定の基準が設けられていることを理解している。 ・生活排水は、衛生的に処理されなければならないことを理解している。 ・環境を汚染する物質は、さまざまな経路で私たちの体に入り、私たちの健康にさまざまな被害をもたらすことを理解している。	・寒さ、暑さを調節するための工夫と注意点を考えているとともに、それらを表現している。 ・室内の空気の状態について課題を見つけるとともに、課題などを通して計画的な換気の必要性を理解し、暖房器具の取り扱いなどについて考えている。 ・水と私たちの生活についての課題を見つけ、進んでその解決方法を探ろうとしている。 ・生活排水やごみの処理を巡るさまざまな問題があることを理解するとともに、解決のための工夫や対策を考えたり話し合ったりしている。 ・環境を汚染するものやそれによる健康への影響について考え、課題意識を持っている。	・粘り強く学習に取り組もうとしている。 ・学習や話し合い活動に調整しながら取り組んでいる。 ・家庭から出る生活排水やごみがどのように処理されているかについて関心を持って学習に取り組もうとしている。 ・身近な環境に関心を持ち、改善しようとしている。
体育理論 (3)	文化としてのスポーツの意義 ・スポーツの文化的意義 ・国際的なスポーツ大会とその役割 ・人々を結び付けるスポーツ	・スポーツは、現代生活において誰もが楽しめるように、その関わり方を工夫してきた文化であることを理解している。 ・スポーツにはさまざまな国際大会があり、それらは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること、それらの果たす役割が大きくなってきていることを理解している。 ・スポーツには、人々を結び付ける働きがあること、さまざまな違いを超える可能性があることを理解している。	・現代生活におけるスポーツの意義や役割について考えている。 ・国際的なスポーツ大会が身近で行われた際に、どんな関わり方ができるかについて考えている。 ・さまざまな違いを超えて交流するスポーツについて、事例を通して考えている。	・スポーツの意義と自分の生活を結び付けて考えようとしている。 ・国際的なスポーツ大会などに関心を持ち、その意義や役割について考えようとしている。 ・スポーツが人々を結び付けた例を思い出したり、調べたりするとともに、自分の経験を通して考えようとしている。